オンラインシラバス　中学1年生　本科

国語 ---------- 2

地理 ---------- 3

数学α ---------- 4

数学β ---------- 5

理科Ⅰ ---------- 6

理科Ⅱ ---------- 7

英語 ---------- 8

English ---------- 9

教科	科目	コース	授業時間	担当者
国語	国語	本科	5	佃・林・松本

到達目標

①説明的文章については、精緻な文章読解を通じ、筆者の主張を正確に理解する力を養う。
②文章の読解を通じ、社会的な課題や哲学的な論点についての視野を広げるとともに見識を深める。
③筆者の主張を多角的に検討し、地震の意見を主体的に構築・表現しうる力を養う。
④自分の意見を発表したり記述したりする訓練を通じ、レポートや論文を書くための素養を身につける。
⑤文学的文章については、表現の豊かさを味わい、その表現の機微を敏感に捉える。

授業の進め方・学習方法

集団授業を基本とし、ディスカッション、発表などの取り組みを通して自分の意見を構築・発表します。
漢字テストや単元のテストはその都度告知します。シリウスは週末課題や長期休業中課題として活用します。

授業スケジュール

1学期	【現代文】 教科書 人種／多様性／平和　「全ては編集されている」（池上彰） 随筆「字のない葉書」(向田邦子） 評論文選 評論　「ものごとを見つめるという技術」（黒川伊保子） 【古典】口語文法「言葉の単位、動詞、形容詞、形容動詞」
1学期中間試験	
1学期	【現代文】 教科書 伝統／文化／歴史　「蜘蛛の糸」（芥川龍之介） 評論文選 評論　「情報の"メタ"化」（外山滋比古） 【古典】 現代仮名遣い・歴史的仮名遣い・文語用言 「竹取物語」 古典常識
1学期期末試験	
2学期	【現代文】 教科書 人種／多様性／平和　「ベンチ」（ハンス＝ペーター＝リヒター） 評論文選 評論　「日本語がなくなったら」（山口仲美） 「日本的精神」（内山節） 【古典】 口語文法「その他自立語、助詞、助動詞、敬語
2学期中間試験	
2学期	【現代文】 教科書 身体／生命／家族　宮沢賢治「オツベルと象」 評論文選 評論　「したたかな寄生」（成田聡子） 【古典】 現代仮名遣い・歴史的仮名遣い・文語助動詞 「枕草子」「徒然草」 古典常識
2学期期末試験	
3学期	【現代文】 教科書 自己／他者／物語　「少年の日の思い出」（ヘルマン・ヘッセ） 評論文選 評論　「生物多様性と生態系―『生物学的文明論』」（本川達雄） 【古典】 現代仮名遣い・歴史的仮名遣い 「方丈記」 古典常識・故事成語
学年末試験	

成績評価方法

種別	割合(%)	評価基準など
定期試験	80	定期試験を中心として平常の活動を含み総合的に評価する。
レポート	0～20	
小テストなど	0～20	
授業での取り組み	0～20	

教科書・教材

書名	出版社	備考
伝え合う言葉　中学国語①	教育出版	
現代を読む評論文20選	明治書院	
意味から学ぶ頻出漢字3000	第一学習社	
プレミアムカラー国語便覧	数研出版	
問題中心の新文法ノート	浜島書店	
Sirius21発展編　国語Vol.1	育伸社	

参考書

書名	著者	出版社	備考

担当者からのアドバイス

テクストは読み手によっていかようにも解釈できます。自分の意見を自分の言葉で表現するためには、より多くのテクストをより正確にインプットする工程が必要です。授業を通して多くの視点、考え方に触れてください。わからない言葉、漢字はその都度ノートに書きだし、自身のものになるよう日々の努力を怠らないようにしましょう。

教科	科目	コース	授業時間	担当者
社会	地理	本科	3	釣田・渡邊

到達目標

【地理的分野】世界地理分野の自然環境・気候・産業構造・文化的特色について、中学の基礎的内容から高校地理レベルの学習内容
までの習得を目標 とするとともに、現代世界の諸問題に関する考察能力を身につけます。
[中期] 地理的技能、地理的な見方や考え方の獲得、中学校の基礎レベルから大学入学共通試験レベルの問題で得点できる実力を養います。
[長期] 特に現代世界の諸問題に関して、資料から論述問題に対応できる思考力を身につけます。

授業の進め方・学習方法

1. 学習内容に関する一斉教授・講義
2. 世界のニュースを取り上げ、現代の諸問題を地理的事象に結び付けて解決策を見出すアクティブラーニング
3. ICT機器を利用した諸地域の地形の学習
4. 確認テスト

授業スケジュール

1学期	地理の基本的知識 (1)地球の概要 ・六大陸と三大洋　・緯度と経度　・時差 (2)気候 ・世界の気候　・大気循環　・気温/降水量　など ・世界の諸地域の人々のくらし
1学期中間試験	
1学期	アジア地誌 ①東アジア　自然環境・農業・人口と民族・工業アジア地誌 ②東南アジア　自然環境・社会・農業・工業化・ASEAN ③南アジア　自然環境・社会・農業・工業・宗教
1学期期末試験	
2学期	アジア地誌 ④西アジア　自然環境・社会・農業・工業化 アフリカ地誌 自然環境・社会・食料問題・人口問題・格差・農業・資源
2学期中間試験	
2学期	ヨーロッパ地誌 自然環境・農業・工業・宗教・民族問題・EU 北アメリカ地誌(アメリカ合衆国) 自然環境・農業・工業・社会
2学期期末試験	
3学期	南半球の地誌 自然環境・農業・工業・社会
学年末試験	

成績評価方法

種別	割合(%)	評価基準など
定期試験	80	・中間・期末試験(1・2学期)、学年末試験(3学期) ・課題レポート・ノート提出・※授業姿勢など
レポート	0～20	
小テストなど	0～20	
授業での取り組み	0～20	

教科書・教材

書名	出版社	備考
中学生の地理	帝国書院	
中学校社会科地図	帝国書院	

参考書

書名	著者	出版社	備考

担当者からのアドバイス

地理は「今」を読み解く学問です。今、地球で起きているさまざまな現象には必ず理由があるはずです。「なぜ」そうなったのか。常に考える習慣をつけましょう。
・受け身ではなく、手や頭を動かして、積極的に授業に参加しましょう。
・予習は必要ありませんが、50分でよくわからなかったことや気になることは自ら学習を深めましょう。
・地理の授業を受けるときは地図帳を常に開ける状態にしておきましょう。まずはその地域についてイメージすることが大事です。
・単なる暗記ではなく地理的思考力を身につけることを狙いとしています。
・世界の地理を学ぶことで、世界のニュースをより身近に感じるころができます。知識を頭に書き込む暗記ではなく、心に書き込むことで、自分の考えを論理的に説明できる中学生を目指しましょう。

教科	科目	コース	授業時間	担当者
数学	数学α	本科	3	堀内・田中・高橋由

到達目標

数や計算の仕組みを考え、論理的に説明する力を養う。基本的な計算力を学んでいくとともに、間違えた理由やより速く解く工夫を意識させて考える力を身につけたい。さらに、自分で考えたり、友人と意見交換しながら、表現力や説明する力を身につけ、答え至上主義ではない姿を目指す。

授業の進め方・学習方法

<授業の進め方>
計算演習を行い、常に満点をとることを意識し、高い計算力を身につけていく。また、自ら考える姿勢を大切にするとともに自身の考えを発表する機会も設ける。また、内容の定着を確認する小テストを適宜実施する。分野によっては中学範囲にとどまらず高校範囲の内容にも踏み込み、効率的に学習し本質的な理解を目指す。学習の理解度を見ながら、進度に幅を持たせていく場合がある。
<学習方法>
授業ノートは復習をする際、最も有効な参考書となるため、できる限り丁寧に書くこと。また、家庭学習における復習を大切にすること。授業があった日にはノートを見返して内容を確認し、内容の定着のために問題集に取り組み、わからないことがあれば積極的に質問に来ること。

授業スケジュール

1学期	正の数と負の数 ・正の数と負の数 ・加法と減法 ・乗法と除法 ・四則の混じった計算 文字式 ・文字式
1学期中間試験	
1学期	文字式 ・多項式の計算 ・多項式の計算 ・単項式の乗法と除法 ・文字式の利用 方程式 ・方程式とその解
1学期期末試験	
2学期	方程式 ・1次方程式の解き方 ・1次方程式の利用 ・連立方程式 ・連立方程式の利用
2学期中間試験	
2学期	1次関数 ・変化と関数 ・比例とそのグラフ ・反比例とそのグラフ ・比例、反比例の利用 1次関数 ・1次関数とそのグラフ ・1次関数と方程式
2学期期末試験	
3学期	1次関数 ・1次関数の利用 ・1次関数の応用 資料の整理と活用 ・資料の整理 ・代表と散らばり ・近似値と誤差 標本調査
学年末試験	

成績評価方法

種別	割合(%)	評価基準など
定期試験	80	定期試験の割合が80%、課題試験の結果・小テストの結果・宿題の提出状況の割合が20%、、合わせて100%として評価する。
レポート	0～20	
小テストなど	0～20	
授業での取り組み	0～20	

教科書・教材

書名	出版社	備考
体系数学1　代数編	数研出版	
体系問題集1　代数編	数研出版	

参考書

書名	著者	出版社	備考

担当者からのアドバイス

数学は、これまでにわかってきたことを利用して新たなことを発見し、追求してきました。毎回の授業で得た知識は、その後に続く授業においても重要な役割をもっています。授業の中で生じた疑問をそのままにしないように気をつけましょう。また、理解したことをきちんと伝えられるようになりましょう。課題・宿題は授業で理解したことを自分で表現する大切な機会です。必ず取り組みましょう。
発見する楽しさ、わかることの喜び、論理的に説明することの大切さを学び、思考力を高め、答えを出すことだけでなく、答えを導き出すまでの過程を大切にしていきましょう。

教科	科目	コース	授業時間	担当者
数学	数学β	本科	3	後藤

到達目標

図形を対象として、論理的に考え説明する力を養う。算数で使っていた図形の性質について証明できるようになる。
定義が何かを学び、それを利用して新たな図形の性質・定理を証明できるようになる。
また、作図を学習することで、より深い理解を目指します。

授業の進め方・学習方法

定理の証明や問題演習において、自ら考える姿勢を大切にするとともに、自身の考えを発表する機会を設けます。
また、内容の定着を確認する小テストを適宜実施します。分野によっては、中学範囲にとどまらず高校範囲の内容にも踏み込み、
効率的に学習し本質的な理解を目指します。
家庭学習における予習・復習を大切にすることで理解の定着を図れます。授業があった日には、授業の内容の復習をし、
宿題に取り組むことで理解を確認しましょう。

授業スケジュール

1学期	第1章　平面図形 1.平面図形の基礎 2.図形の移動 3.作図 4.面積と長さ 第2章　空間図形 1.いろいろな立体 2.空間における平面と直線
1学期中間試験	
1学期	3.立体のいろいろな見方 4.立体の表面積と体積 第3章　図形の性質と合同 1.平行線と角 2.多角形の内角と外角 3.三角形の合同
1学期期末試験	
2学期	第3章　図形の性質と合同 4.証明 第4章　三角形と四角形 1.二等辺三角形 2.直角三角形の合同
2学期中間試験	
2学期	第4章　三角形と四角形 3.平行四辺形 4.平行線と面積
2学期期末試験	
3学期	第4章　三角形と四角形 5.三角形の辺と角
学年末試験	

成績評価方法

種別	割合(%)	評価基準など
定期試験	80	定期試験の割合が80% 小テスト・課題提出状況等を20% 合わせて100%として評価する
レポート	0～20	
小テストなど	0～20	
授業での取り組み	0～20	

教科書・教材

書名	出版社	備考
体系数学Ⅰ　幾何編	数研出版	
体系問題集　幾何編	数研出版	

参考書

書名	著者	出版社	備考

担当者からのアドバイス

数学は、これまでに分かってきたことを利用して新たなことを発見し、追及してきました。日々の授業で学習した内容は、次の学習の
基礎となります。授業で生じた疑問はそのままにせず、その都度確認していきましょう。理解した内容を口頭で、そして文章で伝えられる
ことを目標にしましょう。発見する楽しさ、わかることの喜び、論理的に説明することの大切さを学んでいきましょう。そして、
思考力を高め、答えを出すだけでなく、答えを導き出す過程を大切にしていきましょう

教科	科目	コース	授業時間	担当者
理科	理科Ⅰ	本科	2	関矢

到達目標

化学分野と物理分野の導入部分に親しみ、化学や物理に関わる様々な現象や物質に興味を持たせながら、科学に対して主体的に理解を深める姿勢を育てる。
中高一貫教育のアドバンテージを活かし、高校化学・物理諸先取り学習を進め、大学受験期における超難関大学対策を有利に進めるための基礎力を身に着ける。

授業の進め方・学習方法

教科書、板書、プリント、ICT機器などを活用します。ノート、プリント、教科書、PCを必ず持参してください。
1学期～2学期前半が化学分野、2学期後半～3学期が物理分野となります。もし、「授業が難しい！進度が速い！」と感じた場合、
スタディサプリを使った予習・復習も効果的です。また、クラスメイトと教え合うことでお互いの理解が深まります。
次回の授業が始まるまでに前回までで疑問があったところを教えあったり、調べたりしてわからないまま進むことのないように心がけましょう。
やや難易度の高い内容を扱うこともありますが、予習・復習をきちんとすれば大丈夫です。
一つ一つの疑問を丁寧に解決して、自分の言葉で用語や式が説明ができるようになりましょう。

授業スケジュール

1学期	[系統的に学ぶ中学化学(文理)] 第１章 身の回りの物質 　第２節 物質を作る原子・分子 ・物質を作る原子・分子 　　・古代ギリシアで原子を主張したデモクリトス 　　・原子はとても小さい 　　・原子と元素 　　・元素記号 　　・周期律と周期表 　　・周期表のしくみ 　　・周期表の元素の順序は原子番号順 　　・分子 　　・金属元素だけでできている物質と金属元素＋非金属元素だけでできている物質 第６章 化学変化とイオン 　第２節 電子配置とイオンの生成 　　・原子の構造 　　・電子配置と周期表 　　・電子配置とイオンの生成 　　・イオン結合とイオン化合物 　　・イオンでできた物質の化学式の書き方 ＜定期試験範囲について＞ 上記の内容＋授業で扱った内容とその関連事項（＋理科実験の学習内容）
1学期中間試験	
1学期	[系統的に学ぶ中学化学(文理)] 第７章 化学結合と物質の分類 　第１節 化学結合 　　・共有結合 　　・電子対と不対電子 　　・単結合・二重結合・三重結合 　　・金属結合 ※以下の範囲は授業で多くは取り上げないが、理科実験で扱うため自分で学習しておくこと。 　第１章：第3節 密度 　第２章：第2節 溶解度と再結晶 ＜定期試験範囲について＞ 上記の内容＋授業で扱った内容とその関連事項（＋理科実験の学習内容）
1学期期末試験	
2学期	[系統的に学ぶ中学化学(文理)] 第７章 化学結合と物質分類 　第１節 化学結合とは 　第２節 物質を大きく5つに分ける 　　・共有結合でできる物質 　　・金属結合をする物質の特徴 第１章 身の回りの物質 　第１節 物質とは 　　・物体と物質 　　・物質の三態 　　・混合物と純物質 単体と化合物 　　・有機物と無機物 　　・金属と非金属（＆金属単体諸性質） [系統的に学ぶ中学物理(文理)] 第１章 光と音諸世界 　第１節 光諸性質 　　・光諸進み方 　　・レンズ 　　・光とそ諸仲間 ＜定期試験範囲について＞ 上記諸内容＋授業で扱った内容とそ諸関連事項（＋理科実験諸学習内容）
2学期中間試験	
2学期	[系統的に学ぶ中学物理(文理)] 第１章　光と音と世界 　第１節　光の性質 　第２節　音の性質 　　・音の発生と伝わり方 　　・音の大きさや高さ 　第３節　波の性質 第２章　力と圧力 　第１節　力 　　・力とはたらき 　　・いろいろな力 　　・力の大きさと単位 　　・質量と重さ 　　・ばねののびと力 　　・力の表し方 ＜定期試験範囲について＞ 上記の内容＋授業で扱った内容とその関連事項（＋理科実験の学習内容）
2学期期末試験	
3学期	[系統的に学ぶ中学物理(文理)] 第２章　力と圧力 　第１節　力 第５章　力と運動 　第１節　力の合成・分解と力のつり合い 　　・力の合成 　　・力の分解 　　・力のつり合い 　　・作用と反作用 第２章　力と圧力 　第２節　圧力と浮力 　　・圧力 　　・大気による圧力と水中ではたらく圧力 　　・水中ではたらく浮力 　　・気体中ではたらく浮力 ＜定期試験範囲について＞ 上記の内容＋授業で扱った内容とその関連事項（＋理科実験の学習内容）
学年末試験	

成績評価方法

種別	割合(%)	評価基準など
定期試験	80	授業内で扱った内容と基礎事項の確認とともに、本質的な内容理解を問う問題を多く出題します。暗記などに走らず、一つ一つの内容をどこまでも自分自身が納得いくまで理解しましょう。なお、期末試験では中間試験の範囲も出題し、学年末試験では、1・2学期の内容も出題します。
レポート	0～20	
小テストなど	0～20	
授業での取り組み	0～20	

教科書・教材

書名	出版社	備考
未来へ広がるサイエンス1	啓林館	
系統的に学ぶ中学化学	文理	
系統的に学ぶ中学物理	文理	
系統的に学ぶ中学化学・問題集	文理	
系統的に学ぶ中学物理・問題集	文理	

参考書

書名	著者	出版社	備考
フォトサイエンス化学図録		数研出版	
フォトサイエンス物理図録		数研出版	

担当者からのアドバイス

理科は非常に身近なものを題材にする教科です。日常にあふれる疑問を自ら調べて知識を増やす姿勢が大事です。
日頃から「なぜ？」を大切に、授業に臨みましょう。

教科	科目	コース	授業時間	担当者
理科	理科Ⅱ	本科	1	井上徳也

到達目標

第一学期は、生物ならではの特徴と、観察、記録方法を学びます。
第二学期は、観察のポイントを踏まえて、植物の器官の構造とはたらきについて学びます。
また、動物の行動に関する事項を学びます。
第三学期は動物の体内で行われている営みを学びます。
それぞれの学期で学んだことを論理的に整理し、
身近な生物の活動について、各自が探求できるようになってほしいところです。

授業の進め方・学習方法

文理の教科書を使用して授業を進めます。
定期試験には、授業で扱った事項の他、理科実験で扱ったものも出題されます。
第一学期期末試験以降は、それ以前に学習した範囲も出題されます。

授業スケジュール

1学期	第1章　生物とは 　第1節　生物の基本単位－細胞 　・いろいろな生物とその共通点 　・細胞発見の歴史について 　第2節　単細胞生物から多細胞生物へ 　・細胞の構造の概要 　・組織や器官の構造 　第3節　生物のなかま分け 　・系統分類と分類階級と学名の規則 ＜定期試験範囲＞ 生物の共通点、細胞学の歴史、細胞の構造、組織、器官、系統分類について。 理科実験も試験範囲とする。
1学期中間試験	
1学期	第1章　生物とは 　　第4節　身近な生物の観察 　・顕微鏡の構造と使い方 　・その他観察器具の使い方とスケッチの方法 第2章　植物の世界 　第1節　植物のふえ方 　・花の構造とはたらきと種子の構造 　・花が咲かない植物のふえ方 ＜定期試験範囲＞ 顕微鏡、生物の観察、花、種子植物、裸子植物、コケ・シダ類について。 1学期中間試験の範囲と理科実験も試験範囲とする。
1学期期末試験	
2学期	第2章　植物の世界 　第2節　植物が生きるしくみ 　・葉・茎・根の構造と植物の分類 　・光合成 　第3節植物の移り変わり 　・植物群落の種類 　・遷移 ＜定期試験範囲＞ 植物の器官と分類、光合成、植物群落、遷移について。 理科実験も試験範囲とする。
2学期中間試験	
2学期	第3章　動物の世界 　第1節　動物の行動のしくみ 　・刺激と反応の関係と目・耳の構造 　・神経系の構造と神経の種類 　・骨格と筋肉 ＜定期試験範囲＞ 刺激、反応、目、耳、神経系、骨格、筋肉について。 2学期中間試験の範囲と理科実験も試験範囲とする。
2学期期末試験	
3学期	第3章　動物の世界 　第2節　食物の消化と吸収 　・栄養分の種類の構造 　・消化と吸収の概要 　・消化酵素の種類とはたらき 　・消化酵素の特徴 　・肝臓と栄養分 　第3節　血液の循環と不要物の排出 　・肺と外呼吸、細胞呼吸 　・血液の循環とはたらき ＜定期試験範囲＞ 栄養分、消化、血液、肺、肝臓について。 1学期、2学期の範囲と理科実験も試験範囲とする。
学年末試験	

成績評価方法

種別	割合(%)	評価基準など
定期試験	80	「理科」の評価は、理科第1分野第2分野を合算した点数をもとに算出されます。 「理科実験」の評価は、「理科」とは別に、レポートの質や実験への取り組み等でつけられます。 これらの評価をもとに、年度末には「理科」としての成績が算出されます。 各定期試験の範囲は、各学期の学習内容を参考にして下さい。また、期末試験には、その学期の中間試験の範囲も含まれます。
レポート	0～20	
小テストなど	0～20	
授業での取り組み	0～20	

教科書・教材

書名	出版社	教科書番号	備考
系統的に学ぶ中学生物	文理		
系統的に学ぶ中学生物　問題集	文理		
未来へ広がるサイエンス	啓林館		

担当者からのアドバイス

かつて「生命力」という不思議な力で信じられていた生物は、今やその仕組みの多くが解明されつつあります。
不思議に見える生物の仕組みを学習し、巧妙なプログラムを知りましょう。
花が咲いていることも、何気なく食べ物を食べて消化していることも、しくみを知るとそこには思いもよらない綿密なシステムがあります。深く知っていきましょう。

教科	科目	コース	授業時間	担当者
外国語	英語	本科	3	佐野・浜中

到達目標

○日常的な話題について、短く簡単な説明や指示を聞いて理解することができる。
○日常的な話題について，簡単な語句や文で書かれたものから，具体的な情報を読み取ることができる。
○簡単な語句や文を使って，まとまりのある文章を書くことができる。
○自分のことや興味あることについて、簡単な語句を使って自分の考えを伝えることができる。

授業の進め方・学習方法

○読む、書く、聞く、話すの4技能を総合的に伸ばす活動を行う。
○知識の定着を図るため、定期的に小テストを行う。
○コミュニケーションツールとして活用するための土台となる英文法の基礎を固める。

授業スケジュール

1学期	≪New Treasure≫ Lesson 1 Lesson 2
1学期中間試験	
1学期	≪New Treasure≫ Lesson 3 Lesson 4
1学期期末試験	
2学期	≪New Treasure≫ Lesson 5 Lesson 6
2学期中間試験	
2学期	≪New Treasure≫ Lesson 7 Lesson 8
2学期期末試験	
3学期	≪New Treasure≫ Lesson 9 Lesson 10
学年末試験	

成績評価方法

種別	割合(%)	評価基準など
定期試験	80	定期試験の結果を中心とする。
レポート	0-20	平常点として20%を設定し、提出物・小テストの結果などを
小テストなど	0-20	総合的に評価する。
授業での取り組み	0-20	

教科書・教材

書名	出版社	備考
New Treasure English Series stage 1	Z会出版	主に授業中に利用します。
New Treasure English Series stage 1 CDs for students	Z会出版	主に家庭学習の音読の際のモデルとして使います。
New Treasure English Series stage 1 文法問題集	Z会出版	主に家庭学習で利用します。

参考書

書名	著者	出版社	備考
キクタン【中学英単語】		アルク	朝学習で利用します。
Active Phonics		正進社	

担当者からのアドバイス

目で見て、声に出して、耳で聞いて、書く。この繰り返しで英語を体に染み込ませましょう。また、気になった単語は調べましょう。出会った単語、表現はどんどん覚えましょう。そして使ってみることです。英会話の授業や校内でネイティブの先生に覚えた表現を使って話しかけましょう。言葉は使って初めて身につきます。使える英語をこの授業でしっかり学習しましょう。

教科	科目	コース	授業時間	担当者
外国語	English	本科	3	Parker

到達目標
The aim of this course is to improve all areas of English for Honka students. We practice Reading, Writing, Speaking, Listening (and Thinking) all in English. Students will gain lots of new vocabulary and practice grammar in an engaging way. This course is communicative: students will speak a lot with one another in natural English.

授業の進め方・学習方法
Students will primarily use Solutions Elementary as a base, they will also use a variety of materials, games, language aids and more. Students will also be encouraged to complete self-study materials which include grammar practice, reading, writing, listening at their own pace.

授業スケジュール	
1学期	Classroom language questions; alphabet and numbers; country names; self introductions; grammar - be and have got; talking about ability and asking permission; action verbs; articles; talking about family members; present simple grammar - affirmative, negative, interrogative; spelling and pronunciation; singular and plural nouns; describing people; personal profile - adjectives, contractions.
1学期中間試験	
1学期	Students will do in-class speaking tests and written exams.
1学期期末試験	
2学期	Students will do in-class speaking tests and written exams.
2学期中間試験	
2学期	TBD
2学期期末試験	
3学期	TBD
学年末試験	

成績評価方法		
種別	割合(%)	評価基準など
定期試験		Assessment will be based on speaking tests, written exams and homework submission.
レポート		
小テストなど	50%	
授業での取り組み	50%	

教科書・教材		
書名	出版社	備考
Solutions: Elementary Student Book	OUP	Third Edition
Solutions: Elementary Work Book	OUP	Third Edition

参考書			
書名	著者	出版社	備考
Solutions: Elementary		OUP	Third Edition

担当者からのアドバイス
Students should bring their textbooks, workbooks, and notebooks to each class.